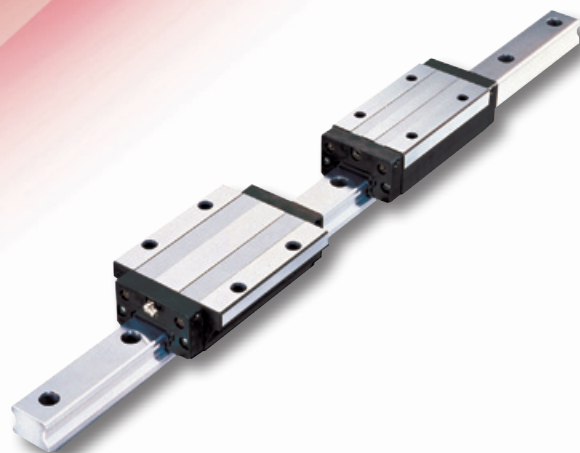


第45期 中間報告書  
2014年4月1日から2014年9月30日まで



## 株主の皆様へ



代表取締役社長

高橋 昌博

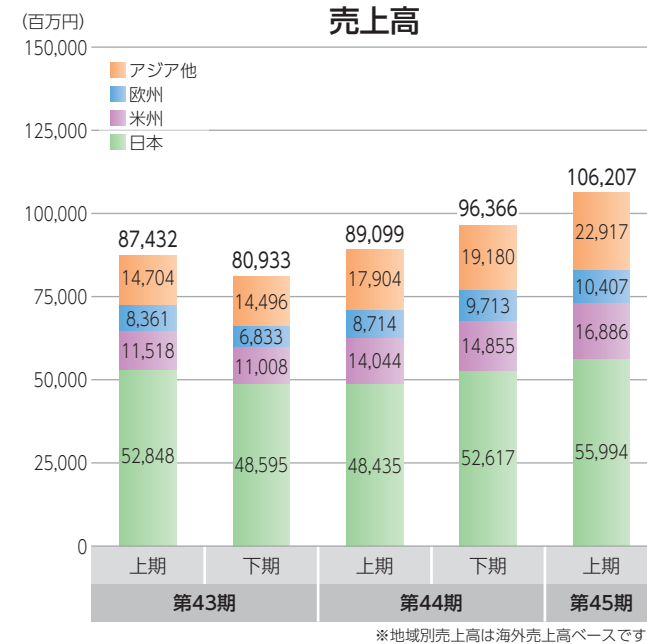
株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

当第2四半期連結累計期間においては、新興国の経済成長が鈍化した一方、先進国を中心として経済に回復の動きが見られる中で世界経済は緩やかに回復しました。当社においては、スマートフォンやタブレットPCなどに関する投資に牽引されエレクトロニクス関連の需要が増加する中、これまでに強化してきた事業体制を活かして積極的な拡販に努めました。それらに加え、為替が前年同期に比べて円安で推移したことなどにより、連結売上高は前年同期比19.2%増の1,062億円となりました。利益面では、経営基盤の強化に向けた部門横断プロジェクト「P25プロジェクト」をはじめとした各種改善活動による固定費の効率化並びに変動費比率の改善に加え、為替が前年同期に比べて円安で推移したことなどにより、営業利益は前年同期比91.0%増の143億円、四半期純利益は前年同期比52.7%増の108億円となりました。

当社は先般策定した2014年度を開始年度とする3ヵ年の中期経営計画において、最終年度である2016年度に連結売上高2,500億円、営業利益400億円を数値目標として掲げております。中期経営目標の達成に向けては、グローバルでの競争に耐えられる経営基盤が着実に構築されつつある今、売上高の拡大こそが最も利益率改善に寄与するという考えのもと、成長戦略である「グローバル展開」と「新規分野への展開」をさらに加速させています。加えて、収益構造の改善にも引き続き取り組むことにより、必ずやこの計画を達成させるとともに、さらなる成長を成し遂げ、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト



### 日本 16%増

工作機械向けの需要の回復に加え、スマートフォンやタブレットPCなどに関する投資に牽引されエレクトロニクス関連の需要が増加する中、積極的な営業活動を展開するとともに地震・制震装置など新たな市場の開拓に努めました。それらの結果、工作機械やエレクトロニクス、一般機械向けなど全般的に売上高を増加させることができ、増収となりました。

### 米州 20%増

自動車生産が増加し設備投資の増加が続く中、製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、エネルギー関連など新規分野の開拓に努めました。それらの結果、エレクトロニクスや工作機械、輸送用機器向けなどにおいて売上高を増加させることができ、増収となりました。

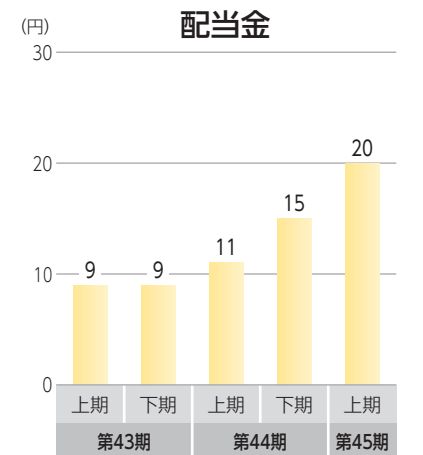
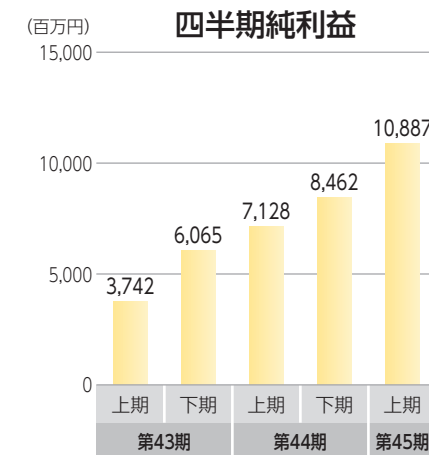
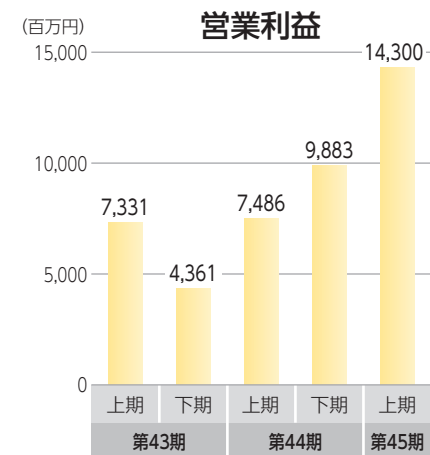
※各地域の増減率は前年同期比です。

### 欧州 19%増

引き続き経済に回復の動きが見られる中、製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、鉄道車両関連など新規分野を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。それらの結果、工作機械や一般機械、エレクトロニクス向けなどにおいて売上高を増加させることができ、増収となりました。

### アジア他 28%増

スマートフォンやタブレットPCなどに関する投資に牽引され、小型の工作機械向けを中心として需要は増加しました。そのような中、これまで強化してきた販売網を活かし積極的な営業活動を展開した結果、工作機械や一般機械、輸送用機器など幅広い向け先において売上高を増加させることができ、増収となりました。






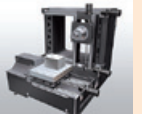





## 成長戦略 グローバル展開

THKは、日本、米州、欧州、アジアの4極において、現地で生産して販売するという需要地における製販一体体制を構築しています。とりわけ中国など新興国において中長期的に需要の拡大が見込まれる中、先進国はもちろんのこと、世界中で販売網を積極的に拡充してまいります。



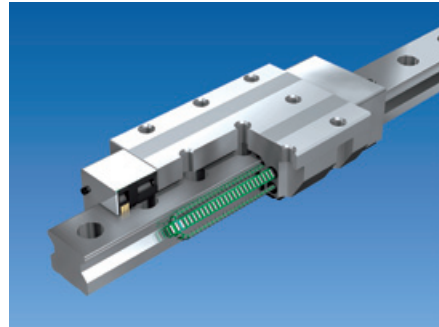
## 成長戦略 新規分野への展開

THKは、これまで培ってきた直動システムのコア技術と蓄積されたノウハウを活かし、自動車や免震・制震装置、医療機器、航空機など消費財に近い分野の拡大を図っています。消費財においてもLMガイドをはじめとしたTHK製品の採用が広がる中、これらの膨大な可能性を顕在化させるべく、新規分野への展開を加速させてまいります。

<p><b>E 福祉介護</b> 電動リクライニング車いす</p>  <p>リクライニング部分にLMガイド</p>	<p><b>F 航空宇宙</b> 航空機</p>  <p>操縦桿にボールスプライン</p>	<p><b>G 再生可能エネルギー</b> 風力発電機</p>  <p>風車の旋回部分にRガイド</p>	<p><b>H 産業用機械</b> 工作機械</p>  <p>直線運動部にLMガイド 駆動部にボールねじ</p>
<p><b>D 医療</b> CTスキャナ</p>  <p>寝台を昇降・スライドする部分にLMガイド</p>			
<p><b>C 交通機関</b> 鉄道</p>  <p>ホームドアのスライド部分にLMガイド</p>			
<p><b>B 交通機関</b> 自動車</p>  <p>自動車の足回りにリンクボール</p>			
<p><b>A 免震住宅</b> 住宅用免震装置</p>  <p>建物と基礎の間にLMガイドを十字型に配置</p>			

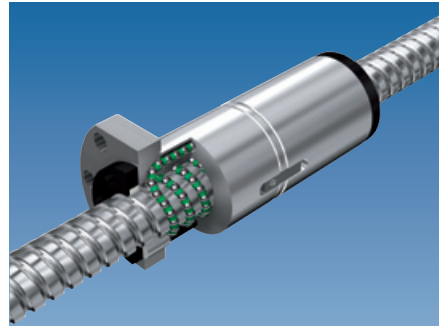
## New Products

### ■ローラーリテーナ入りLMガイド SRG/SRN形 超ロングブロックタイプ



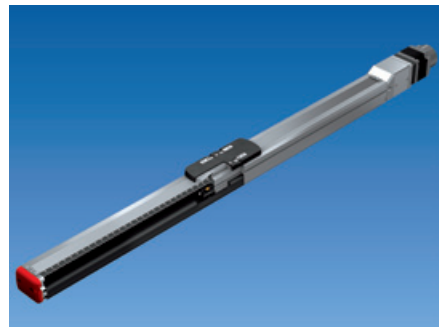
ローラーリテーナ入りLMガイド SRG/SRN形にブロックの全長が長い「超ロングブロックタイプ」を追加しました。大きな荷重に対して変形量が少ないローラータイプにおいて、ブロックサイズを長くすることにより、さらなる高剛性・高負荷への対応が可能になりました。

### ■ボールリテーナ入りダブルナットボールねじ SBKN形



ボールリテーナ入りダブルナットボールねじ SBKN形は、2つのボールねじナットを連結するダブルナット方式を採用した製品です。これにより、同じ軸径のシングルナット方式に比べ、約2倍の定格荷重、約6倍の寿命を実現しました。さらにボールねじの循環構造に新開発のエンドピースとRピースを採用し、より高速な駆動が可能になりました。

### ■電動アクチュエータ コンパクトシリーズ KSF



電動アクチュエータ コンパクトシリーズ KSFは、駆動部のボールねじ軸の大径化により、定格出力が大きいモータが使用可能な製品です。これにより、同等サイズの従来品に比べ約3倍のロングストロークと高速性を実現しました。さらに上部をマグネットの磁力で吸着させるフルカバー構造により隙間ができにくく、外部からの異物流入による破損を低減させることができます。

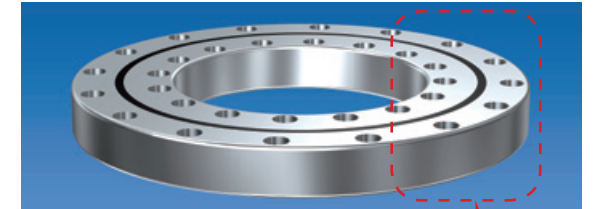
## Topics

### ■日本機械学会優秀製品賞を受賞

2010年に市場へ投入し、工作機械の巡回テーブル部やロボットの関節部などに広くご採用頂いている複列アンギュラローラーリング「RW形」が、2013年度日本機械学会優秀製品賞を受賞しました。

RW形は、これまで積み重ねてきたクロスローラーリングのノウハウを活かし、一層の高剛性と高精度化へのニーズに対応したローラーベアリングです。

※日本機械学会優秀製品賞とは、わが国のものづくりを幅広く活性化・サポートすることを目的として、既存技術の工夫や改良、草の根的な技術開発などによって生み出された優れた製品を表彰する制度です。



複列アンギュラローラーリング RW形



受賞記念盾



内部構造

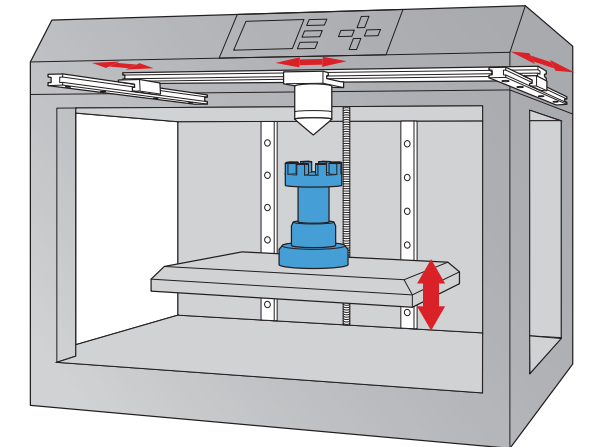
### ■3Dプリンターへの取り組み

ものづくりに変革をもたらすと言われる3DプリンターにおけるTHK製品の採用例をご紹介します。

3Dプリンターとは、3次元のデジタルデータから立体的な造形物を造る機械のことで、自動車部品の試作や医療機器の製作といった業務用から家庭用まで幅広く用いられるようになってきています。経済産業省によると付加製造装置・3Dプリンター等の直接市場は2012年度の2,300億円から2020年には1兆円と4倍強に拡大すると試算されています。

3Dプリンターは、コンピューターの設計図通りに立体物を製作する必要があるため、高い精度を誇る「ミニチュアLMガイド」などのTHK製品が採用されています。

今後も業務用、家庭用ともに需要の拡大が期待される中、新規採用の拡大に努めてまいります。

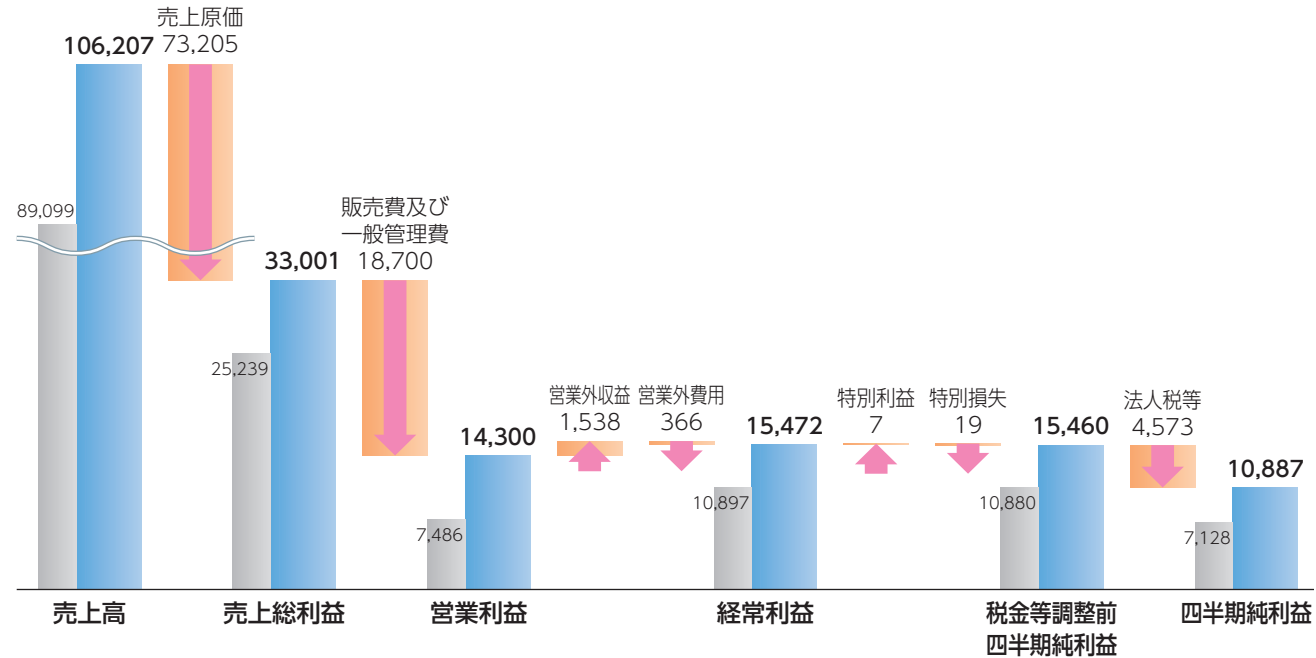


3Dプリンター

# 四半期連結財務諸表 (要旨)

## 四半期連結損益計算書

■ 当第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日～2014年9月30日) (単位: 百万円)  
■ 前第2四半期連結累計期間 (2013年4月1日～2013年9月30日)



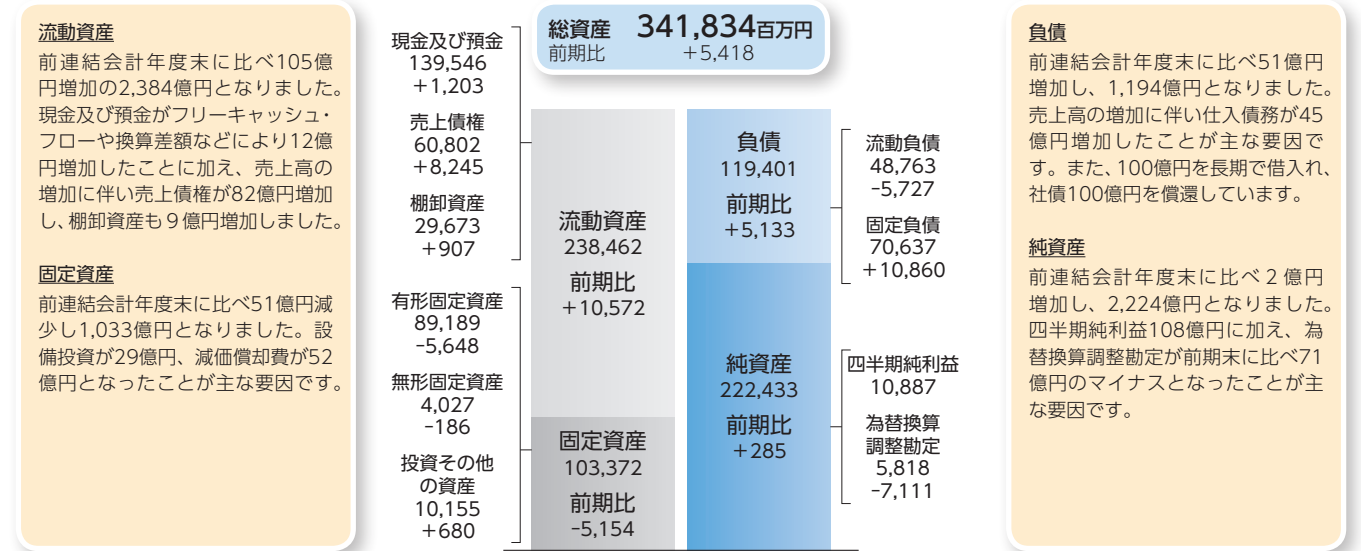
**売上高**  
国内では工作機械やエレクトロニクス、一般機械など全般的に需要が増加し、海外でも各地域において需要は概ね堅調に推移しました。それらの結果、連結売上高は前年同期に比べて171億円 (19.2%) 増加し1,062億円となりました。

**営業利益**  
経営基盤の強化に向けた部門横断プロジェクト「P25プロジェクト」をはじめとした各種改善活動が固定費の効率化並びに変動費比率の低下に寄与したことなどにより、営業利益は前年同期に比べて68億円 (91.0%) 増加し143億円となりました。

**経常利益、四半期純利益**  
営業外損益では、営業外収益は、為替差益が4億円となったことに加え、持分法による投資利益が3億円となったことなどにより、15億円となりました。営業外費用は、主に支払利息が2億円となったことなどにより、3億円となりました。これらの結果、経常利益は前年同期に比べて45億円 (42.0%) 増加し154億円、四半期純利益は37億円 (52.7%) 増加し108億円となりました。

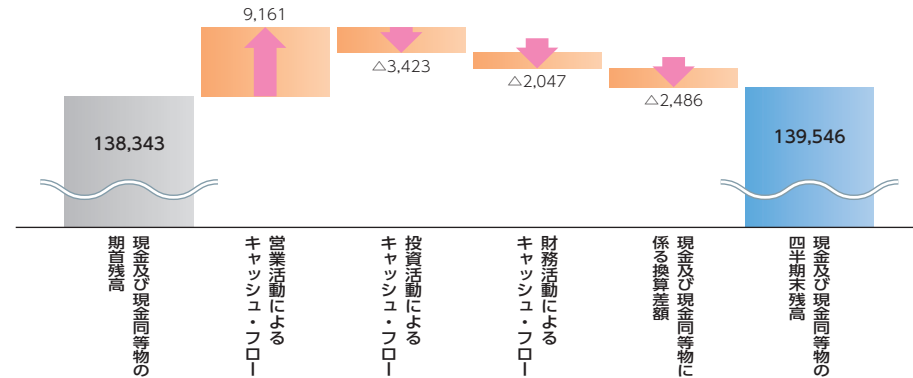
## 四半期連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日現在) (単位: 百万円)



## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日～2014年9月30日) (単位: 百万円)



**営業活動によるキャッシュ・フロー**  
税金等調整前四半期純利益154億円、減価償却費54億円、売上債権の増加90億円、たな卸資産の増加17億円、仕入債務の増加52億円などにより、91億円のキャッシュ・インとなりました。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**  
主に固定資産の取得により34億円のキャッシュ・アウトとなりました。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**  
主に配当金の支払いにより20億円のキャッシュ・アウトとなりました。なお、100億円を長期で借入れ、社債100億円を償還しています。これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて12億円増加し、1,395億円となりました。

## 医療・福祉機器分野への展開

THKは、工作機械をはじめとした産業用機械以外の消費財に近い新規分野に参入すべく、研究開発・販売を促進しています。今回は、医療・福祉機器分野におけるTHKの取り組みについてご紹介します。

### 歩行アシストロボット

膝や股の関節を患って人工関節への置換手術を受けられた方へのリハビリテーション向けとして、産学協同で歩行アシストロボットの開発と臨床研究を進めています。

人工関節における膝駆動部のモーター制御に「SEED Solutions\*」が使用されています。センサーで感知した使用者の歩行データを端末に送信することにより、リアルタイムでの情報分析が可能となり、リハビリテーションの効果を高めてより短期間での回復に貢献します。

※「SEED Solutions」とは、超小型ドライバコントローラとアクチュエータをコアとした次世代ロボット向け要素部品です。ロボットの組立てや制御をシンプル化し、ロボットづくりにおける諸問題を解決します。



### 電動リクライニング車いす

車いすには長時間同じ姿勢で座る場合が多く、床ずれを引き起こす原因となります。それを解消するため、リクライニング部分に「ユーティリティスライドUGR\*」が使用されています。頑丈なUGRの採用によって、いす全体をスライドさせながら、安全に水平近くまでリクライニングさせることが可能となり、使用者の快適性の向上に貢献しています。

※「ユーティリティスライドUGR」とは、コンパクトで許容荷重が大きいスライドレールです。住宅機器やオフィス機器など多種多様な箇所で使用されています。

日本をはじめとして高齢化に伴い医療・福祉分野への需要が高まる中、THKは最適な部品の提供を通じてより豊かな暮らしの実現に貢献してまいります。



## 会社の概要 (2014年9月30日現在)

### 会社概要

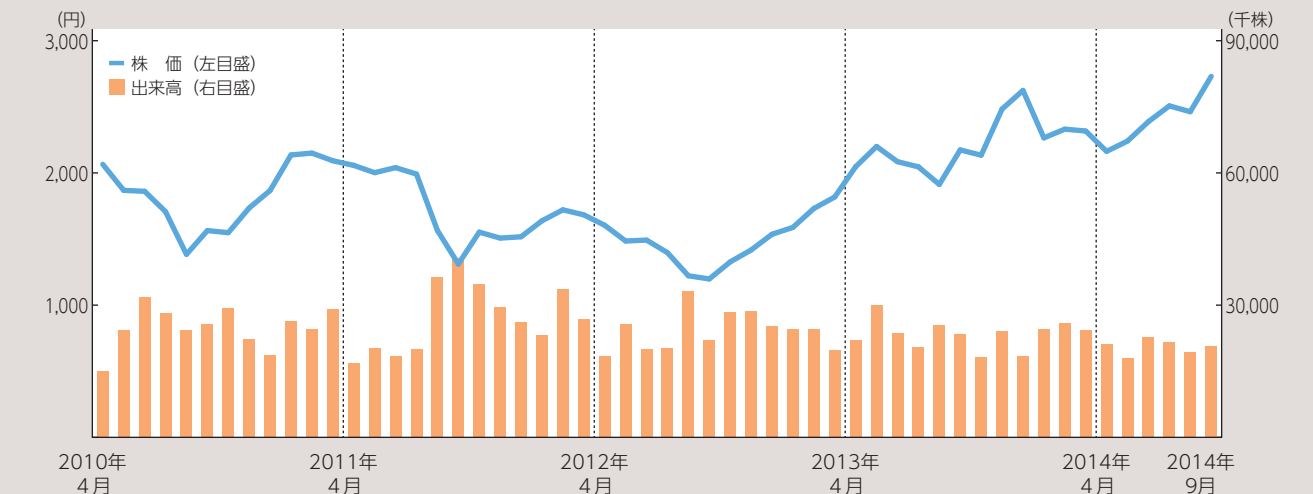
商号	THK株式会社 (THK CO., LTD.)
所在地	東京都品川区西五反田三丁目11番6号
設立	1971年(昭和46年)4月10日
資本金	34,606百万円
従業員数	3,393名 (THKグループ9,479名)
事業内容	産業用ロボット、NC工作機械、各種半導体製造装置等の産業用機械の高精度化、省力化、高速化を実現する「直動システム」の製造販売、並びに自動車等の輸送用機器部品の製造販売
ホームページ	<a href="http://www.thk.com/">http://www.thk.com/</a>
会計監査人	太陽ASG有限責任監査法人*

※2014年10月1日付で太陽有限責任監査法人に社名変更

### 役員

代表取締役社長	寺町 彰博
取締役副社長	寺町 俊博 今野 宏
取締役常務執行役員	大久保 孝
取締役執行役員	坂井 淳一 寺町 崇史
社外取締役	甲斐 莊正 晃 日置 政克
常勤監査役	木内 秀行 五十嵐 一則
社外監査役	渡邊 静夫 米 正剛
常務執行役員	林田 哲也 下牧 純二
	榎 信之 澤田 雅人
	星野 京延 神戸 昭彦
執行役員	星出 薫 石川 裕一
	木下 直樹 桑原 淳一
	杉田 正樹 山田 幸男
	菅原 伸昭 伊藤 栄
	村本 等

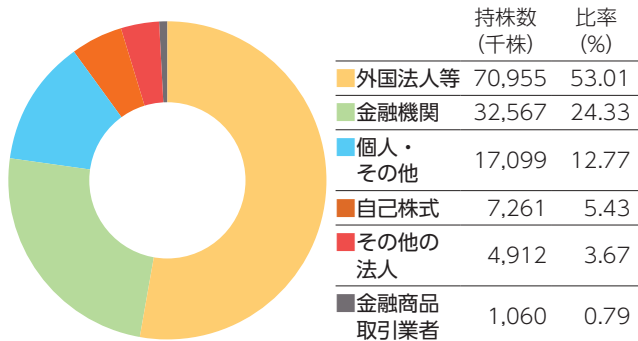
### 株価の推移 (2010年4月1日～2014年9月30日)



## ■株式情報

発行可能株式総数	465,877,700株
発行済株式総数	133,856,903株
株主数	17,746名

## ■所有者別株式分布状況



## ■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
株主確定日	株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

## ■大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,392	5.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,202	5.68
メロンバンク エヌイー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	3,664	2.89
寺町彰博	3,646	2.88
エフティシー株式会社	2,774	2.19
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	2,732	2.15
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	2,525	1.99
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ユーエスイー)エルエルシー エスピーエル、フォーイーエックスイーエル、ピーイーエヌ	2,321	1.83
ザ バンク オブ ニューヨーク 132812	2,023	1.59
ジェーピーエムシービー ユーエスイー レジデンツ ペンション ジャスデック レンド 385051	1,869	1.47

\*持株比率は、自社株(7,261千株)を控除して計算しております。

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6481
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載 して行います。 <a href="http://www.thk.com/jp/ir/">http://www.thk.com/jp/ir/</a>

## 株式に関するお手続きのご案内

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>● 支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>● 特別口座に記録された株式のお問い合わせ</li> <li>● 株式事務に関する一般的なお知らせ</li> </ul>	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) ※手続き書類のご請求は以下の方法でも承っております。 Tel. 0120-244-479 (24時間自動音声応答、通話料無料) <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a> からのダウンロード
● 上記以外のお手続き、ご照会等	□座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



THK株式会社